

北九州市 2018年6月議会がはじまります

6月議会が6月5日から12日まで行われます。

今議会は、安倍政権が隠ぺい、改ざんなど民主主義を根底から破壊するかつてない異常政治を進め、一方では朝鮮半島をめぐる平和への流れが起こるなど、国内外で大激動の中で開催されます。

また北九州市では、北橋市政が下関北九州道路のムダ

遣い計画を推進する一方で、各種公共料金の廃止・統合と施設使用料の値上げ、有料化を進め、市民負担を大きく増やそうとする中で行われます。

日本共産党市議団は、市民の暮らしと福祉を守るとともに、大激動の情勢を市民の立場で切り開く展望を示す論戦を進めます。ぜひとも傍聴にお越しくください。

学校施設の利用も

公共施設 使用料値上げ

有料化

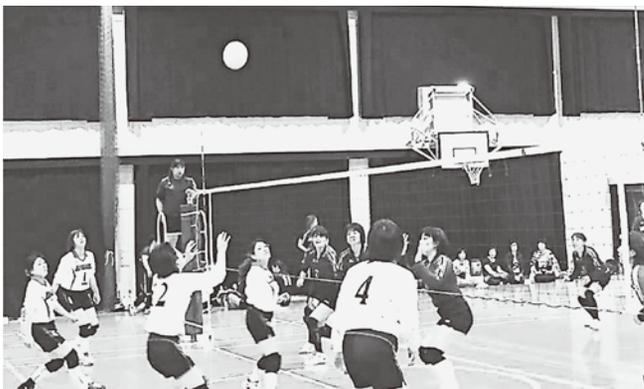
北九州市が提案している各種公共施設使用料値上げ（最大1.5倍）は道理がありません。

市は「財政事情」を理由にあげますが、

一方では必要性も採算性もない下関北九州道路を計画し、門司区では各種公共施設を統廃合する新たな複合施設の建設や競輪場跡地の一部民間売却で住宅開発を提案。「財政事情」は方便と言わなければなりません。

しかも市は2月に突然、学校の体育館、運動場などの施設の使用も有料化を打ち出し、「便乗値上げだ」と市民の怒りを広げています。

「住民の福祉の増進」という地方自治の目的に照らせば、市民の福祉・暮らしにかかわることこそ優先すべきです。



学校体育館を利用しているママさんバレー

- 声**
- 私のプール行きは、健康維持に欠かせません。プール代の50%値上げは、命を削るようなものです。
 - 学校体育館や運動場を利用した際、清掃などして維持管理に協力している。公共の場は、ふれあいを深める場になっている。1時間400円は高すぎる。

2018年 6月議会日程（案）

| | | |
|----|--------------|-----------------|
| 6月 | 5日（火） | 本会議（開会、質疑・一般質問） |
| | 6日（水） | 本会議（一般質問） |
| | 7日（木） | 本会議（一般質問） |
| | 8日（金） | 常任委員会 |
| | 9日（土）・10日（日） | 休会 |
| | 11日（月） | 常任委員会・議会運営委員会 |
| | 12日（火） | 本会議（閉会） |

質問者とテーマ（質問者順）

（一部変更の可能性あり）

議案質疑



大石 正信

- 1、介護サービス等の事業と人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正について
- 2、介護、障害児・障害者の共生型サービスについて
- 3、放課後児童支援員の基礎資格拡大について
- 4、下関北九州道路の補正予算について



荒川 徹

- 1、「公の施設の受益と負担のあり方」について
 - ①使用料に引き上げについて
 - ②高齢者の減免制度の縮小について
 - ③学校施設の有料化について

一般質問



藤元 さとみ

- 1、八幡東こどもと母のとしょかんの存続を
- 2、生活保護行政の改善について



山内 涼成

- 1、JR若松線のバリアフリー化について
- 2、特別支援学校における医療的ケアについて



高橋 都

- 1、土砂災害警戒区域の対策について
- 2、北九州市奨学金返還支援事業について



出口 成信

- 1、市営住宅の換気扇について
- 2、所有者特定困難な崖地の擁壁工事について



藤沢 かよ

- 1、小倉南図書館への交通アクセスについて
- 2、西鉄快速田川小倉線の廃止問題について
- 3、おでかけ交通の見直しについて
- 4、高齢者の交通支援について



柳井 誠

- 1、学校における業務改善について
- 2、教員採用と処遇改善について

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2018・5・29
No.535

発行 日本共産党北九州市会議員団 北九州市小倉北区内1-1 TEL (093) 582-2646・FAX (093) 582-4113

日本共産党北九州市議団ホームページアドレス⇒ <http://www.jcp-kitakyu.jp/>



福祉教育

現場を応援する政治を 日本共産党

日本共産党市議団は、切実な声が寄せられている問題でこの間、福祉・教育関係の施設を訪問、視察しました。

にない手の方々の頑張りの一方で、事業・職場環境では困難を抱えており、国・行政の役割の重要性が示されました。

障がい者にやさしいプールを 浅生室内温水プール



浅生スポーツセンターのプールを視察する視察団

4月6日、戸畑区の浅生スポーツセンターを視察しました。同施設は、小倉北区の障がい者用プールが事故で使用できなくなる中で、利用者が集中しています。しかし「使いにくい」との声が寄せられたことを受けて行ったものです。視察の中で、点字ブロックが屋内フロアにはない、車イス用トイレが男女共用、車イスで入ると更衣室が狭い、更衣室やプールへの入り口が狭いなどの問題点が明らかになりました。改善を求めていきます。

市内の施設を訪問——現地で学びました

介護施設

人手不足の中、「福祉の心」で頑張る

4月24日、3つの介護施設を訪問し、国の介護切り捨て政策の中で、介護を守ってがんばる現場の方々からとりくみを学びました。在宅復帰を重視し、できるだけポータブルトイレを使わない、自宅周辺の方々に面接にきてもらうなどの努力をしている施設もあります。またリハビリ用のスポーツ施設などの地域の人々への開放、特養のお試入所、職員による地域の清掃活動など、地域と交流を深め、地域に溶け込むことを、どの施設も重視していました。しかし人手不足はどこでも深刻で、国・行政の役割が痛感されました。



小倉北区老健施設・伸寿苑で施設の方から説明を受ける視察団

先生方の熱意が現場を支える

特別支援学校



小倉特別支援学校の廊下。左側に並んでいる車イスは、子ども一人一人の身体の状態に合わせた仕様となっています

5月10日、二つの特別支援学校を統合し2年前に開校した小倉総合特別支援学校を訪問しました。肢体不自由児と病弱（慢性疾患）児などが学ぶ新しい学校で、178人の子どもたちと183人の教職員が在籍。一人一人の子どもの状況に応じた教育を行っています。校舎は、主に統合前の一つを引き継いだ旧校舎で、狭く、車いすが並ぶと離合できない廊下もあります。職員室は満杯、体育館も一同には入りきれません。食事は、ランチルームでもとりますが、看護師がついて特別のベッドルームでとる子どもたちもいます。先生方が大変熱心に取り組んでいる姿が印象的でした。

日本共産党各議員の常任委員会配置 (◎は委員長、○は副委員長)

| 総務財政委員会 | 建設建築委員会 | 環境水道委員会 | 保健病院委員会 | 教育文化委員会 | 経済港湾委員会 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ○ 荒川 徹 | 石田 康高 | ○ 柳井 誠 | ● 大石 正信 | ◎ 藤沢 加代 | 山内 涼成 |
| 出口しげのぶ | 高橋 都 | | ● 田中 光明 | 藤元さとみ | |

●印は議会運営委員